

研究課題「異所性過誤腫性胸腺腫の臨床病理学的研究と遺伝子変異解析」に関する情報公開

1. 研究の対象

1998年1月1日から現在までに、当院および共同研究施設における病理組織診断で「異所性過誤腫性胸腺腫」と診断された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

異所性過誤腫性胸腺腫は非常に稀な腫瘍です。本研究では、異所性過誤腫性胸腺腫の症例を複数集めて遺伝子解析を行い、それらの遺伝子学的な特徴と病理診断との関連を明らかにします。具体的には診断した病理標本に特殊な染色を追加し、免疫組織学的な特徴を検討することと、病理標本からDNAを抽出して遺伝子変異を解析します。研究期間は、実施承認日から2020年3月31日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病理診断を行った標本および電子カルテでの診療情報を使用します。病理組織からは、肉眼所見、病理所見、免疫染色の結果の解析、病理標本を用いてのDNAの抽出、DNAを用いた遺伝子変異の解析を行います。腫瘍部のみの遺伝子解析を行い、家族性腫瘍に関するような遺伝子解析は行いません。したがって家族性腫瘍の発生に関わるような遺伝情報を発見する事は想定されていません。

電子カルテからは、年齢・性別・既往歴・臨床経過・採血結果・画像所見・生存期間・生死等の情報を収集します。診療情報の保管は、研究場所の名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学講座で、匿名化した状態で管理し、外付けハードディスクに保存し、鍵をかけたロッカーに保管します。

4. 外部への試料・情報の提供

所属機関外への資料・情報の提供はありません。本研究へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

愛知県がんセンター臨床研究検査科・部長・中西速夫
東京医科大学人体病理学・教授・長尾俊孝
東京医科大学人体病理学・准教授・松林純
横浜市立大学医学部分子病理学講座・准教授・古屋充子
平塚共済病院病理診断科・部長・松原修

横須賀共済病院病理診断科・部門長・中谷行雄
北海道大学病院病理部/病理診断科・教授・松野吉宏
上尾中央総合病院・病理診断科・科長・杉谷雅彦

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学

〒466-8560

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

Tel: 052-744-2649 Fax: 052-744-2649

研究責任者・研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学・准教授・中黒 匡人